

めだかの学校だより

令和元年8月1日
第105号
学舎：周智郡森町一宮
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL：0539-62-6691

校長訓話

第一〇五回 校長 花井 孝

めだかの学校の創設期から、在学はしていても授業は受けず、授業料だけは払い続けて今日に至った。

友人で早稲田に八年間払い続けて、卒業したヤツを超えたと、私の自慢のひとつだ。

私には人生五大自慢話がある。今日は一から四を省略して、五番目を訓話とする。一昨年の厳冬期、静岡市内に向かうため清水駅の個室型ATMで現金を引き出すべく立ち寄った。しかし、先客が入室しており、五分待つても十分待つても終わる気配はなく、イライラした私は、そっと少しだけドアを開けてうかがった。すると「エッ！その他を押すの…」と言う女性の声が聞こえた。銀行直通のインターホンで話しているのかと思ひ、観察して

みるとインターホンは定位置にセツトされていた。そして、五分待った。合計十五分だ。限界にきた私は、ドアを乱暴に開けて立ち入った。次の瞬間「客が来ちゃったよう」に続いて「どうぞお先に…」と空けてくれた。

その先客は高齢者の女性で、髪で見えなかった耳にケータイが、そこで違和感を感じ、その女性に対して「失礼なことを聞きますが、どこかに送金しようとしていますネ」とたずねた。女性はいくも慌てて「十二時まで送金しないと、息子が、息子が…」。

そこで私は「息子さんのケータイ番号を…私から確認を…」。
女性「ダメ、ダメ、息子のケータイはバッテリーが切れているの」。
私「これは間違いなく振り込め詐欺の口口じゃないか」と。

女性は冷静さを失って聞く耳を持たず、そこで困り果てた私は「ちよつとだけ待って。ATMに詳しい人を呼

んでくるから…」と近くの交番に飛び込んで、居合わせた婦警さんをお願いして、後は私の目的のために静岡駅に後日、警察署長から振り込め詐欺を未然に防いだと感謝状を頂戴した。

本当は、私のほうが感謝したい気分ではない。毎日のように報道されて、社会問題のリアル現場に立ち会えた僥倖を戴けたわけである。それに、私の自己実現でもあり、かねがね自分ブランドは『興味津々、おせっかいな好奇心少年爺』を売りにしており、そのすべての要素を含んだ体験ができた喜びは実に満足で、人生最後の五番目の自慢話になるのかも…。

めだかの学生諸君、好奇心にあふれる少年少女のような爺婆をめざそうヨ！

平成30年(2018年)2月7日(水曜日)

発行 発行

活動区 詐欺防いだ男性に感謝状
清水署は5日、振り込め詐欺被害を未然に防いだとして、静岡市清水区山初の自営業花井孝さん(73)＝写真右＝に感謝状を贈った。



花井さんは1月18日、携帯電話で通話しながら無人ATM(現金自動預払機)を操作している高齢女性を同区で見かけた。不審に思い「詐欺ではないですか」などと女性に声を掛け、付近の交番に事情を伝えて被害を防いだ。同署によると、女性は同日、息子をかたる人物から電話で約100万円を要求されていたという。

めだかの学校伝言板

第105回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／花井 孝

教頭／大島たまよ

用務員／村木謙式

給食係／給食は今回取寄せのため村木謙式用務員の指

示のもと全員で準備

※今回は宿舎が小國神社大宝殿のため舎監の榊原淑友か事務局の榊原幸雄の指示にしたがってください。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮「小國神社大宝殿」

TEL：080-1612-9130 榊原へ

開校日／令和元年9月7日(土) PM1:00(受付)～
受付／大場敬子・大橋町代・若尾知孝・服部守孝(後見人)
27期通年テーマ：『平成から令和へ、紡ぎ紡いで27年』
今回のテーマ：『令和の時代のアナログ!!～そのころは…』

<時間割> ●期初特別授業一

4人のパネラーによるパネルディスカッション
「タイトル決めず…ご自由に…」
コーディネーター 溝口久(小山町)
パネラー 長谷部三弘(飯田市)
鈴木厚正(千葉市)
花井孝(静岡市清水区)
菅原敏一(東京都)

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■語り継ぎたい地元の名士

中根金作氏を「存じだろっか?」磐田市で生まれ、世界で活躍した人物である。最近では生地である磐田市岡田にも碑が建てられ、ウィキペディアの書き込みも多くなってきたが、つい2年前まではその存在を知る人は少なかった。ネット検索では「昭和の小堀遠州」と称され、有名なところではかの「足立美術館」の庭園設計を手がけた人物と言えは分り易いだろうか。

しかしその世界的造園家とも言える彼が、40年ほど前に旧新居町の都市計画に関わり、手がけた作品が新居町の随所に見られることを知っている人は数少ない。旧新居町も平成の大合併によって湖西市に加わり、弱小の周辺施設が予算削減の余波を受けて衰弱してゆく行程を余儀なくされているのは否めない。そんな中で、中根氏の残した庭園や町並みを保存しようとして、一造園家を中心に昨年より市民が動き始めた。及ばずながら私も中根氏と同郷とすることだけで参加させていた。現在では彼の功績や手がけた庭園の勉強会に重点を置いているが、地元の方々が彼の事績や新居町に残された遺産を知ること、郷土の誇り・自慢となつて欲しいと思つている。また大きな目標ではあるが、日本庭園という日本が誇る伝統文化・芸術への理解を深める活動や、庭園の人々への環境影響などを考慮した活動などに活かして行ければと考えている。

会を重ねて想うことは、新居町に限らずどんな所にも文化的価値の高い遺産がたくさん眠つていて、それを興し活用してま

ち作りに活かそうと市民が立ち上がることで、遺産もまた輝きを取り戻し、その存在価値を認識させてくれることである。
(大島たまよメダカ)

■第17回全国まちづくり交流会 in 飯館村開催

第17回全国まちづくり交流会 in 飯館村が、8月2日(金)～4日(日)まで、福島県相馬郡飯館村の宿泊体験館「きこりや交流センター」などで行われました。本大会では飯館村の菅野典雄村長が「東日本大震災から8年―飯館村の新しい村づくり」について講演。18時から行われた大交流会も各地から参加した仲間たちで盛り上がりしました。めだかの学校からは、溝口久村松達雄、今村純子、菅原敏一、市原美メダカらが参加しました。次回第18回の開催地は?。交流会については、第105回めだかの学校で、村松達雄メダカが報告します。お楽しみに。

■第37回地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会

第37回地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会は、「五国で一県?兵庫県」多彩な地域づくりを全国へをタイトルに、2019年11月9日(土)～11日(月)の3日間、神戸市の「兵庫県公館」で全体会と、兵庫県内の11会場で分科会が開催される。兵庫県は摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5つの旧国からできている。神戸市の「阪神、淡路大震災からの復興のまちづくり」、加古川市の「伊能忠敬の歩いた播磨みちに学ぶ地域づくり」、その他明石市、多可市、姫路市、栗栗市、佐用町、豊岡市、香美町、丹波市、淡路市と、それぞれの地域の特徴を生かした分科会となっている。申込締切が6月30日と早く、開催される

ことのみのお知らせです。ご了承を。

■“人生は楽しき集い―Life goes to a party” 「かがり火」復刊10周年記念フォーラム

『かがり火』復刊10周年記念フォーラムが2019年10月19日(土)13時30分から、東京港区六本木の政策研究大学院大学で開催される。第一部は哲学者内山節さんの「私たちは今、どんな時代を生きているのか」の講演。第二部は呼びかけ人紹介&名刺交換タイム。第三部首長サミット「首長ほど面白い仕事はない」ニセコ村片山健也村長、弥彦村小林豊彦村長、津別町佐藤多一町長、飯田市牧野光朗市長。第四部は地域からの報告1、花巻市の役重真喜子さんの「平成の大合併が地域にもたらしたもの」。報告2、福島県飯館村の菅野典雄村長の「原発災害が私たちに教えてくれたこと」。第五部「かがり火」に登場した人々、鈴木厚正さんらほか。第六部交流会(開会18時、閉会20時)。参加費はフォーラム&交流会7000円、フォーラムのみの方3000円(学生は1000円)。
お申込み及び問い合わせは、03・5276・1051の合同会社「かがり火」へ。FAXでのお申込みは、03・5276・1051。全国からユニークで凄い人たちが集まります。お申込みはお早めに!

■令和元年第21回遠州横須賀街道・ちっちゃな文化展

10月25日(金)～27日(日)まで、城下町遠州横須賀の街並みを会場に、「第21回遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」が開催される。県内外の芸術家が街並みの民家などを会場に作品を展示。毎年多くの人が訪れて賑わう。問い合わせは0537・4

8・0109掛川南部観光案内へ。

■第29回森町発「秋の町並みと蔵展」

第29回遠州森町の「秋の町並みと蔵展」は、11月23日(土)・24日(日)に開催される予定。今回は森の城下にスポットを当てたものにするとのこと。乞うご期待を!。詳細は第106回めだかの学校だよりで。

『人・ひと・ヒト...だより』

●磐田市の小野泰弘メダカ。この7月から磐田市社会福祉協議会の会長に。磐田市議の時も2回も議長をやっている。有能な人は周りが放っておかないですね。磐田市の大杉昌弘メダカは同社会福祉協議会の職員。地域福祉、市民活動の支援、ボランティアで頑張っている。

●静岡市清水区の花井孝メダカと小山町の溝口久メダカ。7月25日静岡県立大で「地域みらいフェロー」の称号を頂いた。それって何かって?きつといいものだと思うよ。ハイ。デスネ。

●新城市の清水良文メダカ。東栄町を拠点に全国ツアーをしている和太鼓集団「志多ら」の応援組織NPO法人「てほへ」の、前理事長故伊藤静男メダカのあとを引き継いで理事長に。嬉しいね。9月1日には磐田竜洋なぎの木会館で、全国ツアー9作目となる「たすき」を上演する。ぜひ観に来てね!、だつて。

●浜松市の城内実メダカ。なかなか授業に出られず不登校生徒で申し訳ありません。課外授業を、浜松・湖西で開催されると嬉しいだつて。SPレコードが趣味で、コレクションも増えて、デジタル化が進む中、あらためて戦前・戦後のレコードの音の魅力にふれて欲しい、と。課外授業で「SP

レコードを聴く会」を開くのもいいかも。
●飯田市の玉置洋一メダカ。昨年東京から飯田市南信濃へ移住。6月3日に「ゲストハウス太陽堂」を開設した方の看板つくりなどを手伝い、ぜひお出かけを！だって、あのおばあちゃんたちの「手づくりそばまんじゅう」今も健全かなあ。

●習志野市の市原実メダカ。老妻を大事にするため旅行、そして美味しい食事、温泉……ということ体を続くうちにしておきたい。好きなことを選んで生きていきます。めだかの学校も、距離的にははなれていてもつながっている」という安心感がある。まだまだ続けていって、だって！

●静岡市の水野忠義メダカ。昨年から令和元年8月末までに、ぐるり14都市、高山市・亀山市・犬山市・恵那市・美濃市・明和市・岐阜市・群上市・名古屋市・伊賀市・岡崎市・三島市・掛川市・伊豆の国市の、城・神社仏閣・歴史的建造物などの「歴史まちカールド」を集めてのラリーに完走目指して旅行修行！だって。いや〜頑張る81歳。今はどこまで？。無理は禁物ですぞ！

●磐田市の伊藤英雄メダカ。今年には浜松市の内山ゆきるメダカが手伝ってくれるところを4000本植えた。だって。内山さんしつかり草取り、水やりも手伝わなければダメですぞ！。なんせこ老体でありますれば。ハイ。

●岐阜県加茂郡坂祝町の「そばの里 深萱ふらど」の長谷川政夫メダカ。5月20日で70歳。めだかの学校27期の継続凄いですね。私はそばに魅了されて30年！。美味しい手打ちそばを求め続けて「真そば流」を開発、そろそろ完成、だって。「日本中のそばの味革命を！」と夢を描きつつ……残りあと何年……？。どこまでできるかわからないが顔晴ります、と。

●中津川市の早川裕康メダカ。中津川市特産品等振興協会を立ち上げ、都市部で、「中津川フェア」をやっている。時間をみては己書という自由な絵のような文字の作品づくりに挑戦して師範になった。だって。今年の中津川で50年ぶりのフオークジャンボリーのイベントもある、と。

●横浜市の山根圭二メダカ。通年テーマ《今を感じつつ、新たな年はハヤブサ号のように！》このテーマ……す……い……い……くつ集まったんです。何人で、討議、決定したんです？知りたーいでーす、と。めだかの便りを送ると、ちよっとおっちゃんのような、ほほえんでしまうような手紙が届く。27期の申込書には、届いたハガキ、手紙を熟読すること。返信を出来るだけはやく早(送)信すること。集まった情報必ずどこへ発信すること。下手字、下手文を恥ずかしがらないこと。だって。

●掛川市の鳥山剛メダカ。浜松文芸館で、「遠州報徳の絆」の企画展が大々的に開催されます。メダカ生のパンブキンの小林佳弘社長が各方面から資料を集め頑張って実現にこぎつけました。賀茂真淵翁遺徳顕彰会会長「めだか生」の山下智之氏も静岡新聞の窓辺で金次郎を紹介したり、めだかの便り104号で高田正人メダカもめだか春秋で論語と報徳思想を紹介したりしています。沢山のめだか生が報徳に関わっています。村松達雄氏も今や森町役場で村松金次郎と言われています、だって。

●浜松文芸館での企画展「遠州報徳の絆」今、だから報徳を語り継ぐは、6月25日から10月27日まで、浜松市中区早馬町クリエート浜松(4F・5F)で開催されています。二宮尊徳翁の業績や遠州地方に報徳思想を広め、実践した偉人たちの足跡も多数の資料から垣間見ることができま

す。お出かけを！。

●浜松市の山下智之メダカ。静岡新聞夕刊「窓辺」(3カ月・木曜日担当)の最終回に、賀茂真淵没後250年に「ふるき百千の國つ文正しく深くときあかし」とさせる雲をひらきたるすぐれしわざをたたへばや(今からはるか昔の古事記・日本書紀・万葉集などの古典を正しく深く解き明かし、今までに無い学問を開いたこの素晴らしい学術を称えましようの意)昭和11年に製作された静岡県郷土唱歌の中の「賀茂真淵」の歌と、内山真龍や本居宣長をはじめ多くの弟子を育てた「学問の神様」郷土の偉人、賀茂真淵没後250年祭を10月30日に、浜松市の縣居神社で斎行する、だって。

●浜松市引佐町の小林成彦メダカ。得意なことは川の素潜り。好きなことは水辺の観察。どんな生き物がいて、どんな植物がはえているのか。2011年4月、12年3月まで緑のふるさと協力隊、2015年、18年6月まで浜松山里いきいき応援隊。長野県出身の埼玉所沢市育ち、今では浜川に住み着いて、映像やドローンを専門に、まちづくりや地域の農業、祭りなどを応援する個人事業の立ち上げを準備中だって。先日天浜線の動画部門コンクールで優秀賞を受賞、と。奥さんと子供さんもある元気な若者ですぞ！とバラメダカ。推薦は鈴木計芳メダカ。

●新人生紹介》
●浜松市引佐町の小林成彦メダカ。得意なことは川の素潜り。好きなことは水辺の観察。どんな生き物がいて、どんな植物がはえているのか。2011年4月、12年3月まで緑のふるさと協力隊、2015年、18年6月まで浜松山里いきいき応援隊。長野県出身の埼玉所沢市育ち、今では浜川に住み着いて、映像やドローンを専門に、まちづくりや地域の農業、祭りなどを応援する個人事業の立ち上げを準備中だって。先日天浜線の動画部門コンクールで優秀賞を受賞、と。奥さんと子供さんもある元気な若者ですぞ！とバラメダカ。推薦は鈴木計芳メダカ。

●新人生紹介》
●浜松市引佐町の小林成彦メダカ。得意なことは川の素潜り。好きなことは水辺の観察。どんな生き物がいて、どんな植物がはえているのか。2011年4月、12年3月まで緑のふるさと協力隊、2015年、18年6月まで浜松山里いきいき応援隊。長野県出身の埼玉所沢市育ち、今では浜川に住み着いて、映像やドローンを専門に、まちづくりや地域の農業、祭りなどを応援する個人事業の立ち上げを準備中だって。先日天浜線の動画部門コンクールで優秀賞を受賞、と。奥さんと子供さんもある元気な若者ですぞ！とバラメダカ。推薦は鈴木計芳メダカ。

●新人生紹介》
●浜松市引佐町の小林成彦メダカ。得意なことは川の素潜り。好きなことは水辺の観察。どんな生き物がいて、どんな植物がはえているのか。2011年4月、12年3月まで緑のふるさと協力隊、2015年、18年6月まで浜松山里いきいき応援隊。長野県出身の埼玉所沢市育ち、今では浜川に住み着いて、映像やドローンを専門に、まちづくりや地域の農業、祭りなどを応援する個人事業の立ち上げを準備中だって。先日天浜線の動画部門コンクールで優秀賞を受賞、と。奥さんと子供さんもある元気な若者ですぞ！とバラメダカ。推薦は鈴木計芳メダカ。

《めだか春秋》 新元号 令和

御存知のように「令和」の出典は万葉集「梅花の歌」の相伴旅人自身が書いた序文からです。

原文 初春令月、氣淑風和梅披
前之粉、蘭薫珮後之香。

意味 初春の良き月、空気が澄み、風は穏やかで、梅は女性が鏡の前で白粉の蓋を開けた時のようにほつと花開き、蘭は通り過ぎた女性の匂袋の残り香のように漂っている。

令||良い、立派な。和||穏やかで温か。令の字はこの形による正解やきまりはなく、令でも令でもよいようです。

平成までの二四七の元号がすべて中国古典からでしたが、令和は、はじめての日本の古典からの引用となりました。他には、久化、万保、英弘、万和、広至の原案が出されたということです。

この令和の文字と序文を使って二つの作品を作りました。半切大の横の作品も一つは中学同期会の冊子表紙に載せていただきます。

令和にも少し慣れてきた今日この頃ですが、万葉集にゆかりのある土地を訪ねてみるのもいいかなと思います。

・福岡県太宰府坂本八幡宮・富山県高岡市万葉歴史館(複製万葉集全20巻展示)

・奈良(歌が一番多い)・兵庫(稲美市いなみ万葉の森・鳥取県国府町因幡万葉歴史館、など行ってみたいですね。

新しい令和をどんな年にしたいですか自分色の年となるよう、自分に正直に歩んで行けたらなとワクワクしています。

(大橋町代メダカ)



■農村の文化と歴史を辿る遠州大念仏『蟬しぐれの盆』

遠州大念仏『蟬しぐれの盆』が、8月14日(水)午後5時から磐田市敷地の豊岡東交流センター駐車場で行なわれます。遠州大念仏は、徳川・武田両軍の三方ヶ原合戦における戦死者を弔うための念仏踊りに由来しています。静岡県西部地区を中心にだいが減ってしまいましたが現在53組が遠州大念仏保存会に所属して活動しています。この豊岡地域では8月13日から14日にかけて初盆の家を回っています。

今回の上演組は、磐田市敷地の敷上子供念仏、敷南子供念仏と、浜松市浜北区の横須賀組、磐田市菅貫地の菅貫地組、磐田市大平の大平組です。協力金500円。司会進行は鈴木亜絵美メダカ。観光委員で榊原幸雄メダカが関わっています。問合わせは豊岡東交流センター0539・62・6669へ。

■事務局だより

梅雨空のなかに嬉しいニュースがとび込んできた。探策機「はやぶさ」が小惑星りゅうぐうへの着陸を果たして「太陽系歴史のかげらを手」して、11月・12月ごろりゅうぐうを離れて、2020年末には地球に帰還する、とのこと。26期の通年テーマは「今を感じつつ、新たな年は「ハヤブサ号」のように...」。この26期も2019年(令和元年)8月31日で終わるが、2020年末は28期。28期の通年テーマは何にしようか、と夢が広がるね。

さて、第104回めだかの学校は令和元年6月7日(金)、元号が平成から令和に代わったの第1回目。テーマも『新元号』令和』を知ろう! 『令和』になれよう!』。

校長訓話も授業も『令和』がらみ。鈴木亜絵美校長は「私が色彩に深く関心を持ったキッカケの一つが「十二単」の重ねの色目などにみる日本の伝統色彩美。5月1日の即位の礼の新天皇の東帯装束の色は、淡く赤みのかかった茶色は「禁色の黄櫨染など、日本の伝統の素晴らしさを語る。授業の1時間目は「メディアがとらえる『令和』」。

中日新聞の日比野雅彦先生が「令和」の発表の時号外を出したことや、昭和から平成に変わった時の緊迫さと今回の違いなどを話す。二時間目の「古典から『令和』、山下智之先生は「令和の元号が、万葉集の梅花の歌32首の序文からと、万葉集の数を披露し、また浜北方葉公園では、「万葉集」を提供している。万葉集や日本の古典の深さを語る。三時間目の「令和を描く」の草笛由美子先生は、手づくりのキャンパスを床において筆を走らせ鳳凰のような鳥の絵を20分ほどかけて描く。いやさすが。三人三様個性豊かに語った授業だった。

私語飲食全て禁止の次回3役発表は、校長花井孝、教頭大島たまよ、用務員村木謙一。引継ぎの時の花井校長代理に溝口久メダカがする。第105回は期初特別授業、どんな塩梅になるのか楽しみます。新入生紹介では鈴木正士メダカのところに来ていた猫の手クラブの鈴木厚正さんから7人が特別参加して賑やかだった。給食は「令和御膳」、うーん何が出ていたのか思い出せないが、美味しかったことだけは確かでした。ハイ。

第105回めだかの学校の職員会議を、6月27日(木)19時から学舎で開く。今

回は校長、教頭も出席できず、村木謙一用務員が代表してあいさつ。職員の出席も9人とちよつと寂しかったが、事務局から提出された日程や時間割などの原案と、未検討の27期の通年テーマについて話し合う。27期の期初特別授業は「パネルディスカッション」として、パネラーも「書くこと」に拘わる?人たちが4人...。このデジタルの時代に手書きすることをアナログと捉えて、第105回のテーマを「令和の時代のアナログ?」そのころは...」に。通年テーマは「平成から令和へ、紡むぎ紡むいで27年」と、元号に絡らめてする。パネルディスカッションのタイトルは、パネラーの人の柄に合わせて、『4人のパネラーによるパネルディスカッション』...自由にとろぞ...と、コーディネートターの溝口久メダカに委ねる」ことに決めました。

また第100回大同窓会のとぎ、全員での写真を撮らなかつたので今回は授業の前に写真を撮ることに。給食の時間も2時間半とって大交流会。宿泊せず帰宅する人もいることから8時を締めとし、閉校は8日(日)9時解散としました。給食は取り寄せとなるため、宿泊者の数と給食の数をはつきりさせるため、今回は返信用のハガキを同封します。返事は8月15日締め切りです。必ずすよ。ひと言書いて。忘れず!

■第27期の受付をしています。

第27期は令和元年9月1日から令和2年8月31日までです。毎年度入校手続きが必要ですが、7月25日現在58人の生徒が済ませています。まだ済ませない生徒には再度申込書を同封します。9月7日のめだかの開校日か、8月31日までに郵送下さい。未提出の生徒は名簿からはずれ、自

主退学となります。ご注意下さい。新しく入校を希望する方がいましたら事務局までお電話下さい。資料と申込書をお送りします。

■今回も「めだかの学校だより」遅れてごめんなさい。

第27期最初の便り。いや〜令和元年8月1日発行をめざして頑張ったのですがムリでした。いつもお手伝いいたいています石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、田村進治メダカ、本島慎一郎メダカ、私も少しパソコンでやってみましたがダメでした。というわけで水島加寿代メダカにヘルプ!みなさんありがとう!まとめて下さる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとう。

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和元年11月1日予定。締切りは10月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙がファックスで。待ってます。メールの方は、

《mabuchi-trd@vr.tnc.ne.jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「報を」)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX 同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一
宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

